

「大阪・関西万博 機運醸成シンポジウム」が開催されました !!

令和6年3月2日（土）、福岡市中央区六本松にある「福岡市科学館」において、福岡県×大阪・関西万博 機運醸成シンポジウムが「ワンヘルス、いのち輝く未来へ」というテーマで開催されました。

このシンポジウムは、内閣官房国際博覧会推進本部事務局の主催で、来年4月から開催される「大阪・関西万博」への機運を高めようとするものです。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博を知っていただくとともに、「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」というワンヘルスに係る取組を推進する福岡県において、ワンヘルスと万博、そしてその先にある未来社会について、参加者の皆様に一緒に考えていただきたいとの思いが込められています。



【自見はなこ国際博覧会担当大臣：主催者挨拶】（ビデオメッセージ）

大阪・関西万博の開催まであと407日となりました。大阪・関西万博では、コロナ禍を越えた世界で初めてとなる万博であります。ポストコロナの時代に求められる社会像を世界とともに提示していく場所となります。また、国内外から2820万人の来場を想定しており、情報発信、新たなビジネス展開、国際交流の推進等により、地域の取り組みを加速化させる絶好のチャンスであると考えております。

本日のシンポジウムのテーマは「ワンヘルス、いのち輝く未来へ」です。大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」。この命の対象は人間だけではなく、我々を取り巻く多様な生物や自然も含まれます。これは、人と動物の健康と環境の健全性は一つというワンヘルスの理念とまさに一致するものと考えております。

本日のシンポジウムは、皆様が万博をより身近に捉えていただく、そのきっかけとなること、そして福岡県によるワンヘルスの取り組みが万博という機会を捉えて加速化する、そのキックオフの場となることを祈念いたします。

（一部抜粋）



【服部誠太郎福岡県知事：開会挨拶】

大阪・関西万博の開催まで、あと1年余りと迫ってまいりました。福岡県におきましても、この万博において、ワンヘルスの推進、これをテーマとした出展を計画しております。人の健康、そして動物の健康、そしてこの人と動物がともに暮らすこの地球の環境の健全性、この3つのものを一体のものとして捉えそして守っていくことが、「ワンヘルスの理念」です。

今回の万博のテーマ、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。ワンヘルスの理念が実現した社会、これはまさに「いのち輝く未来社会」です。万博は世界中の人々が、たくさんの人々が集うまたとない機会です。

福岡県といたしましては、この機会を捉えこのワンヘルスの推進というものをテーマとした出展を行い、本県のワンヘルスの取り組みを、そしてワンヘルスの理念、そしてその実践の重要性を世界に向けて発信をしてみたいと思います。

今回、このシンポジウムをキックオフとして、我々も万博に向けての準備を着実にしっかりと進めてまいりたいと考えています。 (一部抜粋)



【プレゼンテーション】

左：宮田裕章大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー・「共鳴する未来：Co-being」
右：平山裕章福岡県ワンヘルス総合推進室長・「福岡県におけるワンヘルスの取組」

【パネルディスカッション】

横倉義武 公益社団法人日本医師会名誉会長

藏内勇夫 アジア獣医師会連合（FAVA）会長、公益社団法人日本獣医師会会長

宮田裕章 大阪・万博テーマ事業プロデューサー

豊永阿紀 HKT48

テーマ：「ワンヘルスと万博、その先にある未来社会」

パネルディスカッションでは、福岡県が力を入れて取り組む人と動物の健康と環境の健全性について考える「ワンヘルス」についても意見交換が行われました。



藏内勇夫



横倉義武



宮田裕章



豊永阿紀

今回の万博の考えは、ワンヘルスの考えに似ています。ぜひこれを一体化し、世界に広め、万博を活用していければと思います。コロナ後の初の万博として、「いのち」をテーマに、コロナで分断が進んだ世界が再び五感を通して集まるようなものにしたいものです。ワンヘルスのキーワードは、「絆」です。万博では、「絆」で人類が進化していくところをアピールしないといけません。

ワンヘルスの理念、そしてその実践の重要性を世界に向けて発信していきましょう。

2024年3月5日

福岡ワンヘルス協議会・事務局